

国(地域)別輸出動向

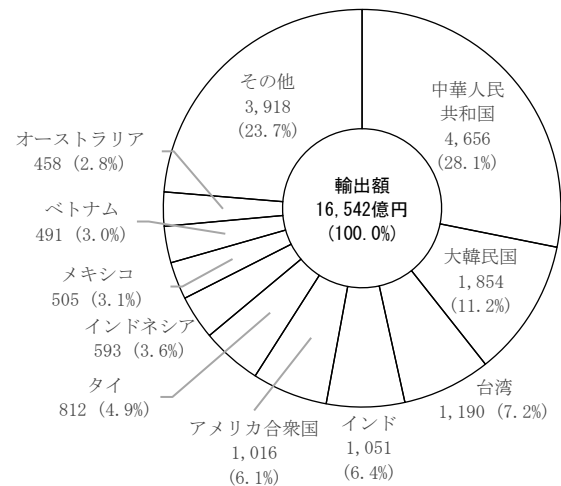
2022年における北九州港の国(地域)別輸出額及び構成比は、図-14のとおりである。

中華人民共和国、大韓民国、台湾、インド、アメリカ合衆国の上位5カ国で9,766億円となり、輸出額全体の59.0%(前年比2.4%ポイント低下)を占める。また上位3カ国では、46.5%を占めている。

上位10カ国をみると、インドが前年比45.1%増で第6位から第4位、インドネシアが前年比56.9%増で第9位から第7位、メキシコが前年比50.5%増で第10位から第8位に順位を上げた。

輸出先を地域分類別にみると、ASEAN10カ国への輸出額は前年比28.9%増の2,794億円、輸出全体の16.9%(前年比1.1%ポイント上昇)を占めている。ASEANに中華人民共和国、大韓民国、台湾、香港を加えた地域(東アジア主要地域)への輸出額は1兆711億円となり、輸出全体の64.8%(前年比3.0%ポイント低下)を占める。

図-14 北九州港の国(地域)別の輸出額及び構成比



1 中華人民共和国

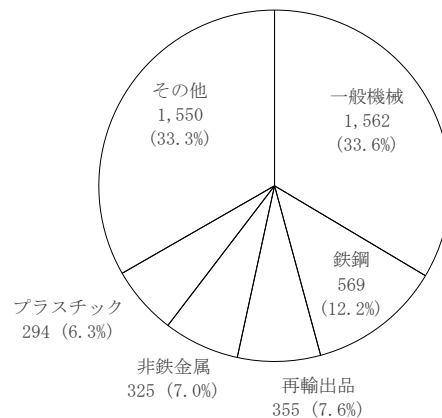
2022年の中華人民共和国への品目別輸出額及び構成比は、図-15のとおり。輸出額は前年比10.4%(439億円)増の4,656億円となった。

全体に占める割合は28.1%で前年から2.6%ポイント低下し、22年連続で第1位となった。

品目別では、再輸出品が前年第11位から第3位に順位を上げた。

一般機械	(1,562億円、前年比 8.5%減)
鉄鋼	(569億円、前年比 25.4%増)
再輸出品	(355億円、前年比 436.2%増)
非鉄金属	(325億円、前年比 12.6%増)
プラスチック	(294億円、前年比 5.8%減)

図-15 中華人民共和国への品目別輸出額及び構成比



2 大韓民国

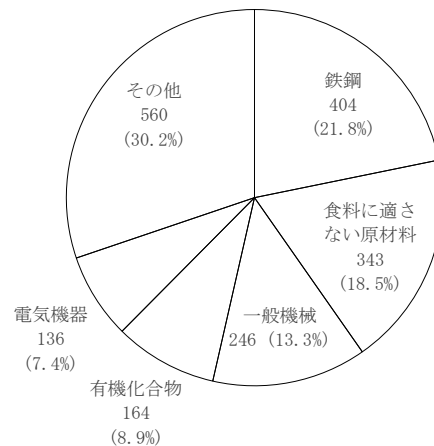
2022年の大韓民国への品目別輸出額及び構成比は、図-16のとおり。輸出額は前年比8.7%(148億円)増の1,854億円となった。

全体に占める割合は11.2%で前年から1.2%ポイント低下し、16年連続で第2位となった。

品目別では、前年第1位の食料に適さない原材料と前年第2位の鉄鋼、前年第3位の有機化合物と前年第4位の一般機械がそれぞれ入れ替わった。また、前年第6位の電気機器が第5位に順位を上げた。

鉄鋼	(404億円、前年比 33.4%増)
食料に適さない原材料	(343億円、前年比 1.9%増)
一般機械	(246億円、前年比 40.0%増)
有機化合物	(164億円、前年比 30.5%減)
電気機器	(136億円、前年比 8.2%増)

図-16 大韓民国への品目別輸出額及び構成比



3 台湾

2022年の台湾への品目別輸出額及び構成比は、図-17のとおり。輸出額は前年比15.1%（156億円）増の1,190億円となった。

全体に占める割合は7.2%で前年から0.3%ポイント低下し、2年連続で第3位となった。

品目別では、前年第3位の一般機械が第1位へ、前年第5位の食料に適さない原材料が第3位へ順位を上げた。

一般機器	(436億円、前年比178.9%増)
鉄鋼	(184億円、前年比6.9%減)
食料に適さない原材料	(94億円、前年比64.1%増)
電気機器	(86億円、前年比29.8%減)
科学光学機器	(70億円、前年比67.7%減)

4 インド

2022年のインドへの品目別輸出額及び構成比は、図-18のとおり。輸出額は前年比45.1%（327億円）増の1,051億円となった。

全体に占める割合は6.4%で前年から1.1%ポイント上昇し、順位を前年から2つ上げて第4位となった。

品目別では、前年第1位の非鉄金属と前年第3位の鉱物性燃料が入替わった。

鉱物性燃料	(287億円、前年比87.2%増)
鉄鋼	(286億円、前年比50.8%増)
非鉄金属	(179億円、前年比8.1%減)
ゴムタイヤ及びチューブ	(71億円、前年比73.9%増)
有機化合物	(57億円、前年比66.2%増)

5 アメリカ合衆国

2022年のアメリカ合衆国への品目別輸出額及び構成比は、図-19のとおり。輸出額は前年比37.5%（277億円）増の1,016億円となった。

全体に占める割合は6.1%で前年から0.7%ポイント上昇し、順位を前年から1つ下げて第5位となった。

品目別では、前年第3位の電気機器と第4位の輸送用機器が入替わった。また、前年第7位の有機化合物が第5位へ順位を上げた。

一般機械	(274億円、前年比25.9%増)
鉄鋼	(270億円、前年比123.9%増)
輸送用機器	(88億円、前年比43.8%増)
電気機器	(66億円、前年比30.1%減)
有機化合物	(64億円、前年比107.1%増)

6 その他

第6位はタイで前年比10.8%増の812億円、第7位はインドネシアで前年比56.9%増の593億円、第8位はメキシコで前年比50.5%増の505億円、第9位はベトナムで前年比15.9%増の491億円、第10位はオーストラリアで前年比20.0%増の458億円と続いている。

また、北九州港の主な輸出先を地域分類で比較すると、アジア（1兆1,811億円、前年比17.2%増）、中南米（1,288億円、前年比43.1%増）、北米（1,137億円、前年比38.7%増）の順となる。

図-17 台湾への品目別輸出額及び構成比

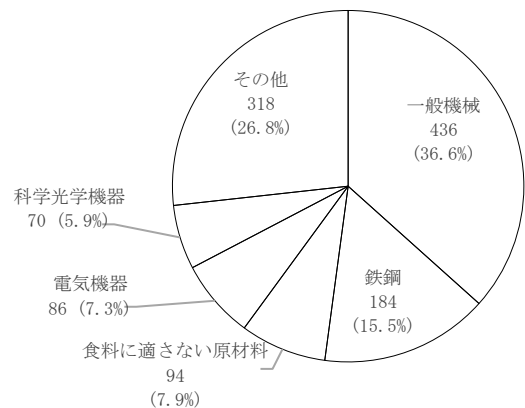


図-18 インドへの品目別輸出額及び構成比

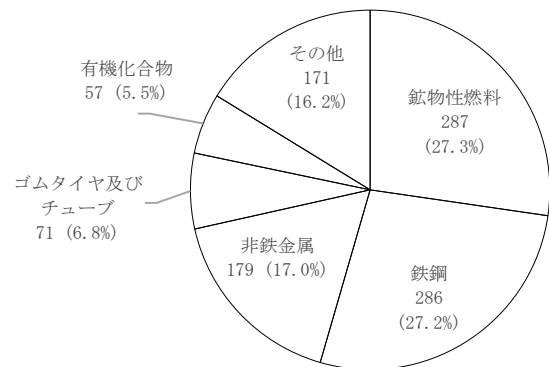


図-19 アメリカ合衆国への品目別輸出額及び構成比

